

2003年度（平成15年度） 第4回常務理事会記録

日時：

2003年（平成15年）8月2日（土） 13:30—16:00

場所：

東京大学医学部2号館（本館）南側地下カンファランスルーム

出席者：

廣川信隆（理事長）、河田光博、柴田洋三郎、高田邦昭、山科正平（以上、常務理事、五十音順）依藤 宏（幹事）、小森雄一郎（学会事務センター）

欠席者：

なし

I 会議記録の確認

1. 2003年（平成15年度）第3回常務理事会記録（案）
2. 2003年（平成15年度）第2回理事会記録（案）
3. 2003年（平成15年度）学術評議員会/総会記録（案）
4. 2003年（平成15年度）第3回理事会（新理事会）記録（案）

II 報告事項

1. 庶務報告（高田庶務担当理事）
 - A. 会員異動報告（正会員2,532名 2002年1月31日現在）
 - 2003年3月分
 - i. 入会者 正会員：2名、学生：1名
 - ii. 退会者 正会員：8名、団体：1件
 - iii. 住所変更等 36件
 - 2002年4月分
 - i. 入会者 正会員：7名、学生：13名
 - ii. 退会者 正会員：6名、学生：3名、評議員：1名
 - iii. 住所変更等 46件
 - 2002年5月分
 - i. 入会者 正会員：3名、学生：1名
 - ii. 退会者 正会員：10名、賛助：1件
 - iii. 住所変更等 14件

B. 逝去会員

- 瀬川 彰久氏（北里大・医・解剖 講師／学術評議員）
2003年4月16日逝去（享年50歳）
- 上嶋 俊彦氏（鳥取大 名誉教授／名誉会員）
2003年5月22日逝去（享年79歳）
- 曾根 潮児氏（金沢医大 名誉教授／名誉会員）
2003年7月10日逝去（享年79歳）

C. 教授就任による学術評議員就任者

- 人見 次郎氏（岩手医大・医・1解剖／旧 新潟大・顕微解剖学 助教授）
就任日：2003年2月1日付け
- 小林 靖氏（防衛医大・2解剖／旧 杏林大・医・1解剖 助教授）
就任日：2003年4月1日付け

D. 学会に届けられた文書等

- 通知
 - a. 文部科学省より
 - i. 「公益法人制度の抜本的改革に関する基本方針」（平成15年6月27日閣議決定）について
 - ii. 科学技術・学術審議会生命倫理・安全部会報告「機関内倫理審査委員会の在り方について」
 - b. 日本学術会議より
 - i. 第19期日本学術会議の会員として推薦すべき者について（通知）
 - ii. 学術の在り方常置委員会報告「日本学術の質的向上への提言」
他6件の通知、報告書、挨拶状が届いている。
- 書籍、定期通信 他
名古屋大学医学部保健学科（小林邦彦先生）より「コ・メディカルのための人体解剖のあり方と健康科学的情報の利用に関する調査研究」他、16件の書籍、定期通信等が届いている。
- 会告掲載、推薦及び出席依頼等
 - a. 国際生物学賞委員会より「第19回国際生物学賞」受賞候補者推薦依頼
常務理事会と学術委員長による検討の結果、1名の候補者を推薦することとした。
 - b. （財）井上科学振興財団より「第20回井上学術賞」候補者推薦依頼
 - c. （財）内藤記念科学振興財団より「第35回内藤記念科学振興賞」候補者推薦依頼
 - d. 本医師会より、平成15年度「日本医師会医学賞」ならびに「日本医師会医学研究助成費」候補者推薦依頼
 - e. （財）上原記念生命科学財団より「研究業績褒賞（上原賞）」候補者

推薦依頼

- f. (財) 風戸研究奨励会より「平成15年度風戸研究奨励金及び風戸奨励賞」公募案内
- g. (財) ブレインサイエンス振興財団より
 - i. 第18回塚原仲晃記念賞受賞候補者、
 - ii. 第17回海外研究者招請助成候補者推薦、
 - iii. 第17回海外派遣研究助成候補者、
 - iv. 第18回研究助成候補者応募案内

以上、6件11項目の各種賞、研究助成等につき学会ホームページ（HP）に案内記事を掲載した。詳細は学会HPを参照されたい。なお、d.については学会内の締め切りまでに応募は1件もなかった。また、b、c、eについては応募が複数ある場合には、常務理事会において、被推薦者を1名に絞る事が決定された。

h.

- i. 大分医科大学 島田達生教授より「田原 淳顕彰公開シンポジウム」会告掲載依頼
- ii. 第19回形態科学シンポジウム世話人 仙波恵美子和歌山県立医科大学教授より、「第19回形態科学シンポジウム」共催依頼
他5件の会告掲載、協賛、後援（名義使用）依頼があり、学会HPに掲載あるいは後援名義使用を許可することとした。

E. 第108回日本解剖学会総会・全国学術集会事業報告

猪口哲夫会頭（久留米大学教授）より報告書が提出された。問題点、今後への助言なども付された詳細な報告書で、以降の総会・全国学術集会開催にとって大変参考となるものである。

F. その他

- i. JST予稿集公開システム利用申請について
平成14年度総会・全国学術集会予稿集のデータベースとしての公開のため、標記の利用申請をおこなった。なお平成15年度以降のデータについては未定である。
- ii. 解剖学用語集の作成と出版の件
解剖学用語委員会 坂井建雄委員長（順天堂大）より「解剖学用語集の作成と公開」に関する企画およびその進行状況について報告があった。
- iii. 2003・2004年度 支部長選出について
標記につき報告がおこなわれた、なお決定した各支部長は以下のとおり。

北海道支部：

武田正子北海道医療大教授

東北支部：

近藤尚武東北大教授

関東支部：

高野吉郎東京医科歯科大教授

中部支部：

杉浦康夫名古屋大教授

近畿支部：

仙波恵美子和歌山県立医大教授

中国・四国支部：

福本哲夫山口大教授

九州支部：

菅沼龍夫宮崎医大教授

iv. 2003年度支部学術集会開催スケジュールについて

標記一覧が報告された。

v. 日本医学会評議員、連絡委員 並びに用語委員、用語代委員の届出について
役員改選に伴う標記各委員の交代とその届出が報告された。なお新委員は以下である。

評議員：

河田光博常務理事

連絡委員：

山科正平常務理事

医学用語委員：

坂井建雄用語委員会委員長

医学用語代委員：

金子武嗣用語委員会委員

2. 編集報告（柴田編集担当理事）

A. 「ASI」及び「解剖学雑誌」刊行報告

両誌とも順調に刊行がおこなわれている旨、報告があった。なお、学会誌に関し、山科会計担当理事より雑誌の広告掲載数が減少している旨の指摘があった。

3. 企画・渉外報告（河田企画・渉外担当理事）

A. 第16回国際解剖学会議（2004年度開催）準備状況について 準備状況、2nd Circularなどについて説明があった。なおこの件に関し、廣川理事長から国際解剖学会議は第1回開催が1903年であり今回の開催がほぼ100周年の節目となることから、是非盛会といたく、そのためにも各種団体からの財政援助依頼活動も積極的におこなってゆきたい旨、発言があった。

B. 生物科学学会連合への対応について

生物科学学会連合から文部科学大臣宛に提出する「研究体制に関する提言」の文案についての意見聴取、及び「『生物学国際高等コンファレンス』の実現に関する要望書」提出に賛同するか否かの問い合わせが届いた。前者については特に異論はなし、後者については賛同として返事した旨、報告があった。

4. 会計報告（山科会計担当理事）

- A. 2003年度会計中間報告
2003年度1—6月分の会計に関する中間報告がおこなわれた。収入・支出ともに特に大きな予定外のものはなく、ほぼ例年どおりとのことである。
- B. 第108回総会・全国学術集会収支決算報告
猪口哲夫会頭（久留米大学教授）より提出された資料を基に報告がおこなわれた。
- C. 賛助会員及び寄付拡大キャンペーン経過報告
- D. （財）日本篤志献体協会からの後援（賛助金）依頼について
例年どおり1口10万円の賛助金を拠出することが決定された。

III 審議事項

- 1. 篤志解剖全国連合会公開シンポジウム（平成15年11月21日開催）後援依頼について
標記の件につき、後援が承認された。
- 2. 第19期日本学術会議解剖学研究連絡委員会委員の推薦について
第19期日本学術会議の11月の発足に向けて解剖学研連委員候補者の人選を常務理事会において進めておくことが決定された。
- 3. 平成17年度科研費審査委員候補選出選挙 実施日程について
学術会議改組問題との関係で科研費審査委員候補者選出に関してはまだ不明な点が多いが、実施日程としては例年と同じものが提案され了承された。
- 4. 科研費審査委員候補「推薦委員会」編成について
次回常務理事会までに案を作成することが決定された。
- 5. 「弔慰に関する申し合わせ書」（内規）について
標記の内規は法人化以前に作成されたものであり、現状に合わない点も生じているので改訂が必要とのこと合意がなされた。案の作成は次回常務理事会においてなされる予定。
- 6. 学会ホームページ（HP）について
情報技術委員会HPワーキンググループの提案に基づき、HPの変更・改良について、審議がおこなわれた。
- 7. 日米合同シンポジウムについて
2004年4月開催の米国解剖学会のAnnual Meeting における日米合同シンポジウムの日本側演者について、米国側より非解剖学会員の研究者を日本解剖学会の会員になることを条件に希望する旨の連絡があった。しかし、シンポジストの選定にあたっては合同シンポジウムの趣旨にのっとり、日本解剖学会が主体的におこなうべきはずのものであるので、この件に関しては米国側とさらに話し合った上で決定する予定である。
- 8. 「倫理委員会」について
倫理委員会の設置について審議がおこなわれ、具体的問題が起きた際に、迅速な対応が出来るよう設置しておくことが承認された。
- 9. その他

会議記録に関する確認：現在会議記録はHPに掲載のものと和文誌掲載用の摘録の2種類が作成されているが、HP掲載のものを正式の会議記録とすることが確認された。